

おかえり

特集

ひきみとつながる。

UIターン情報誌 2025. 11月

◆自然と人の温かさに包まれて

◆ひきみ瓦版 テーマ：つなぐ

◆交流から滞在、そして定住へ

- 日帰り体験
- 田舎体験・ボランティア
- 田舎暮らし体験施設
- 空き家に関する各種事業



土井ノ原集落の皆さん。

このうち、(前列右から) 岡崎愛実さん、寺戸フサエさん、寺戸花代さん、(2列目右から2人目の) 寺戸信男さんが、特集ページに登場します。

【特集】自然と人の温かさに包まれて

― 匹見町土井ノ原で受け継がれる暮らしと挑戦 ―

清流・匹見川の左岸。山肌に赤瓦の家並みが陽光を受けて煌めく益田市匹見町土井ノ原。24世帯40人が暮らす小さな集落です（令和7年9月末現在）。家々の間を谷水が流れ、この豊かな恵みを受け、農耕が営まれています。互いに助け合い、毎日を営む人々の姿があります。

地域の味を受け継ぎ

令和5年4月、国道488号沿いに産直市「やまmichi」が開店しました。運営する岡崎愛実さん（41）は、祖母・寺戸花代さん（89）や地域のお母さんたちが立ち上げた加工グループ「深山の郷」の思いを受け継ぎ、毎週匹見町に通い、「やまmichi」を切り盛りしています。

幼少の頃、岡崎さんは夏休みになると花代さんの家に遊びに行き、神社やお寺へ料理の手伝いに通う花代

さんの姿を見て育ちました。

「深山の郷」は長年、産直市を開いていましたが、担い手の高齢化で解散しました。そんなある日、花代さんから「こんなにやくを作ってみるか」と声をかけられた岡崎さん。手作りこんにやくを知人に配ったところ評判に。「自分にもできるかもしれない」。そんな思いが芽生え、同じ集落に暮らすパティシエ経験者の湊川千恵さんと資格を取得。岡崎さんは産直販売を、湊川さんは「菓香」

の屋号でスイーツの製造・販売をスタートさせました。

産直市には、遠く市内からも客が訪れます。「祖母や地域のお母さんたちの味を次世代へ繋げたい」。その思いが新しい風を吹き込んでいます。



地域住民などで賑わう「やまmichi」

支え合う地域の力

「やまmichi」運営には、地域の支えが欠かせません。寺戸信男さん（79）は、「自分で育てたシャインマスカットを食べてみたい」と15年前に苗を植え、ここ2〜3年で立派な



寺戸信男さん（左）とシャインマスカットの出来具合について話す岡崎さん

も多くの野菜を出荷し、新鮮な野菜が産直市を彩ります。地域で支えあうこの循環こそが、「やまmichi」の原動力です。

行事がつなぐ、絆と笑顔



集落住民の楽しみの一つ…花見

とんど焼き、花見…。地域行事も受け継がれ、盆踊りには出身者が多く帰省し



巫女舞を終え、ほっと一安心

ます。10年ぶりに巫女舞を復活させた寺戸修二さん（64）は、故・藤井文夫さんの遺志を継ぎ、神職の資格を取得した後に、澄川八幡宮の「月次祭」や「歳旦祭」も復活させました。「集落の人たちはみんな元気で、野菜作りが生きがいです」と話す岡崎さん。受け継がれる味や技、そして支え合いの心。それらは、集落の財産です。日常の営みこそが、住民の誇りであり、支えになっています。



子どもから大人まで和気あいあい

匹見上地区 地域で活躍する匹中会！

地域を盛り上げることを目的に、匹見中学校の生徒が主体的に活動する任意団体「匹中会」が平成30年度に発足されて7年が経ちました。現在は、全校生徒8名がこの会に参加しており、普段は学校の教室を借りて話し合いの場を設け、地域貢献活動を主とした活動を行っており、今年度は地域施設への清掃活動や、イベントへの出店・お手伝いに力を注ぎました。この会は匹見地区つろうて子育て協議会の事業として、学校の協力を得ながら地域での中学生の活躍の場を広げています。



保育所清掃活動の様子



社協チャリティー発表会 お手伝いの様子

匹見下地区 世代をつなぐ とちの実交流会

内谷地区で令和7年11月1日、「第26回とちの実交流会」を開催しました。今年は、昨年までのような授業形式ではなく、学校休業日のイベントとして参加者を募集し、実施しました。

当日は「内谷とちの実会」さんの全面協力の下、①とちの実の皮を「へし」という道具でむく②杵と臼で餅をつく③ついた餅を丸める…という日ごろ体験できない貴重な作業を、大人も子どもも楽しみました。心のこもった昼食と、つくたてのお餅を味わった後は、モルックなどを通して交流を深め、最後は「ちょこっとボランティアぞうきんがけレース」で会場清掃にも協力し、閉会しました。

過疎・高齢化が進む内谷地区ですが、久しぶりに若い声が響き、地域が明るく活気づくひとときとなりました。



とちの実の皮むき



餅つき



道川地区

伝統芸能 8年ぶりの実演 ～みんなの想いがひとつに～

国指定登録有形文化財「旧割元庄屋美濃地屋敷」の茅葺屋根の吹替工事完了を受け、美濃地屋敷の更なる周知と活用を目的に、「匹見民俗芸能祭り」を令和6年11月24日に開催し、三葛神楽保持者会の石見神楽、内石地区の藁蛇神事とともに、道川地区は「道川囃子田」を披露しました。

「道川囃子田」は、益田市無形民俗文化財に指定されており、30年前からは小学生と地域住民と一緒に練習し、道川小学校・地区民合同運動会で披露していました。今回8年ぶりの実演となり、10～70代の約20名が集まって、過去の映像を見たり記憶をたどったりしながら、1ヵ月間練習を重ねて本番を迎えました。当日は、およそ200人の来場者がありました。地域の文化財を活かして伝統芸能を受け継ぐ、貴重な機会となりました。



交流から滞在、そして定住へ

～令和7年11月末現在の情報です～



ちょっと匹見を体験したい方は……



うつだに 日帰り体験「内谷とちの郷」

体験内容：料理体験（わさび漬け、こんにゃく、とちもち）、わさび収穫体験

料 金：直接お問い合わせください

住所・連絡先：益田市匹見町石谷口 561 TEL/FAX 0856-56-0589（村上）

移住・定住を検討している方は……



ひきみ田舎暮らし体験住宅

しまね田舎ツーリズムの宿「TERA-HOUSE 2」

- 清流・匹見川のほとりに建つ古民家をリフォーム。
- オール電化で快適に滞在でき、生活に必要な電化製品も完備しています。
- デッキではバーベキューも楽しめます。 ●1泊から連泊まで利用可能。

体験内容：川遊び、わさび谷見学、郷土料理「うずめ飯」づくり ※別途料金

料 金：1棟貸し・1泊（素泊まり）17,000円（最大7名まで）※連泊の場合はご相談ください。

住 所：益田市匹見町澄川イ291-1 TEL：090-7776-0487（寺西）



TERAHOUSE_QR



わさび収穫体験

【田舎体験】

匹見町では、豊かな自然を活かした体験をはじめ、「田舎料理体験」や「ものづくり体験」、「収穫体験」「歴史・文化体験」などを楽しむことができます。



稲苗箱運搬作業

【ボランティア】

少子高齢化が進む匹見町では、集落内の共同作業やイベント開催などが年々困難になっています。そこで、地域外の方にボランティア会員登録をしていただき、軽度の作業に携わってもらうことで、田舎と都市との交流を図っています。

もっと匹見に滞在したい方は……

田舎暮らしの体験や、農林業またはその他の産業に関する技術や経営ノウハウを習得するために滞在可能な施設として、期限付きのお試し施設「益田市立田舎暮らし体験施設」を開設しています。



〈使用者の条件〉

- (1) 益田市への移住を強く希望し、田舎暮らしを体験しようとする人
- (2) 農林業その他の産業に関する技術や経営ノウハウの習得のため研修を受けようとする人

〈使用期間〉1ヶ月以上3年以内

〈使用料〉

令和7年11月末現在

施設区分	戸数（空き戸数）	使用料（月額）
単身用（1DK）	2（0）	8,100円
世帯用（3DK）	2（0）	16,000円

※1部屋に1台分の駐車スペースを用意しています。

〈使用について〉

施設の使用については、市長の許可を受ける必要があります。使用希望の人は、「田舎暮らし体験施設使用申込書」を下記までご提出下さい。（空室状況等詳しくは、益田市のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。）

匹見への定住をお考えの方は……

●Uターン相談窓口

匹見への移住をお考えの方のために、相談窓口を設置しています。困ったことやわからないことがあれば、お気軽に下記窓口まで、ご相談ください。



定住情報

空き家に関する各種事業

空き家バンク制度

益田市は、空き家の有効活用とUターン希望者の定住促進を図るため、「空き家バンク制度」を創設しています。

この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、Uターン希望者にそれぞれ登録してもらい、益田市役所及び匹見分庁舎が窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。

年々、田舎暮らしを強く希望する方々が増えています。匹見町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸し住宅にしてみたい」「売却してみたい」とお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

益田市空き家改修事業

「空き家バンク制度」の住宅を利用して定住する場合、その住宅を改修した際の経費の3分の1以内（上限30万円）を①空き家の購入者または入居者（Uターン者に限る）、または②Uターン者と賃貸借契約を締結した空き家の所有者に補助します。ただし、経費の額が30万円以上であるものに限りません。

定住・Uターンに関する
問い合わせ先

益田市役所匹見分庁舎 匹見地域総務課
〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260

電話：0856-56-0300
FAX：0856-56-0362



バックナンバー